

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法による減価償却を実施している。
- (2) 引当金の計上基準
退職給付引当金
職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
基本財産計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	1,184,950	91,150	0	1,276,100
特定資産計	1,184,950	91,150	0	1,276,100

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	—
基本財産計	5,000,000	(0)	(5,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	1,276,100	(0)	(0)	(1,276,100)
特定資産計	1,276,100	(0)	(0)	(1,276,100)

4. 引当金の明細

引当金の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	1,184,950	91,150	0	1,276,100
合 計	1,184,950	91,150	0	1,276,100

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
空調設備	372,600	25,875	346,725
パソコン	162,000	54,000	108,000
合 計	534,600	79,875	454,725

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及びその残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
県法連補助金	一般社団法人 広島県法人会連合会	0	756,506	756,506	0	—
全法連補助金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	193,000	193,000	0	—
助成金						
全法連助成金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	11,110,900	11,110,900	0	指定正味 財産
全法連助成金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	150,000	150,000	0	—
合 計		0	12,210,406	12,210,406	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	金 額
経常収益への振替額	
事業費計上による振替額	11,110,900
合 計	11,110,900

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、「財務諸表に対する注記」に掲載している。
2. 引当金の明細は、「財務諸表に対する注記」に掲載している。